

春うらら、ウォーキングで汗



3月12日、青年団主催の「歩いてみらんね」があり、47名の参加者全員が、西都原から新富町役場までの約16kmを完歩しました。ゴール後は、婦人会による昼食が振る舞われました。

大学ではわからない日本を学びに

3月13日から2週間、留学生を春休み期間滞在させる「からいも交流」があり、宮崎県に10名、その内、フランスと台湾からの留学生2名が新富町で過ごしました。おふたりは、観光や農業体験等をされたそうです。



気持ち新たに、町立学校で入学式



4月7日及び8日に、小中学校で入学式がありました。

新田学園では、小学部と中学部の新1年生が手をつないで入場し一緒に座るなど、小中一貫校ならではの微笑ましい合同入学式となりました。

避難タワーの役目も！消防機庫完成

4月23日、横江地区に消防団第12部の新しい機庫が完成し、その落成式がありました。新機庫は、1階の団員詰所に加え、2階が備蓄機能を備えた大広間、屋上が太陽光発電と避難タワーの役割を果たします。



宿泊も可能、スポーツ交流拠点開館

4月16日、漕艇庫と宿泊施設を備えた、富田浜スポーツ交流センターがオープンしました。

早速ゴールデンウィークにカヌーの合宿で利用され、今後、ボート競技の発展とそれによる交流が期待されます。



352名が結集し、団結



4月29日、スポーツ少年団入団式があり、団員287名、指導者65名が集いました。この入団式は、スポーツ少年団としての自覚を高め、団員・指導者・育成者が一体となって団員の健全育成のために結集し、目的達成することを誓い合うため、毎年度開催されています。

産卵地を守ろう、富田浜を清掃

5月8日、アカウミガメの産卵地である富田浜を守るため、約700名のボランティアによる富田浜清掃大作戦がありました。町内では、5月6日の朝、今年度初の産卵が確認されています。



奈良県の高校生が農業実習



5月9日から5日間、奈良県立山辺高校山添分校の生徒11名が、町内農家で宿泊農業体験をしました。宮崎県に初めて訪れた生徒達でしたが、すっかり打ち解けた様子で、有意義な時間を過ごせたようです。